

市制85周年記念

ごんの秋まつり

童話の里を彩る
三百万本の彼岸花

2022.9/20(火)～10/4(火) 矢勝川堤・新美南吉記念館周辺



半田市×名鉄タイアップ企画 いいかも!半田キャンペーン

名鉄電車往復割引乗車券に、観光施設の入館割引券、お土産引換券、食べ歩きクーポン3枚がセットになっており、お得に半田のまちを巡ることができます。ごんの秋まつりへお越しの際はぜひご活用ください。

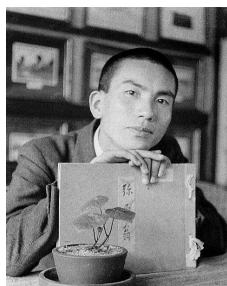


ご来場の際は感染対策にご協力をお願いします。感染対策に関する情報は半田市のHPをご確認ください。

【主催】ごんの秋まつり実行委員会 【お問合せ】半田市観光協会 TEL:0569-32-3264



2023年は新美南吉生誕110年



新美南吉と彼岸花

「ごんぎつね」「手袋を買いに」などで知られる童話作家の新美南吉(1913-1943)は、愛知県知多郡半田町(現・半田市)岩滑(やなべ)に生まれました。代表作「ごんぎつね」は、1956年から小学四年生の国語教科書に掲載され、現在ではすべての教科書に採用されています。彼が生涯を通じて精力的に執筆した多くの童話や小説は、今でも人々に愛され続けています。庶民や子ども、身近な動物たちがいきいきと描かれた多くの作品の舞台は、ふるりの半田。登場人物たちの心情を映した美しい風景は、ここ半田のまちにある、彼の生家近くで今も見ることができます。

9月下旬から10月上旬には、半田市と阿久比町の境を流れる矢勝川の堤に東西1.5キロメートルにわたり彼岸花が咲き誇り、一面が真っ赤な絨毯に覆われる幻想的な風景が現れます。その数なんと300万本。

これは、童話「ごんぎつね」に書かれた『ひがんな花が赤い布のようにさきつづいていました』という描写を再現しようと、1990年に地域の方が主体となって彼岸花の球根を植栽したのがはじまりで、現在もボランティアの手で世話をされています。

新美南吉記念館



【新美南吉記念館】
住所：半田市岩滑西町1-10-1
TEL:0569-26-4888
開館時間：9:30～17:30
休館日：
ごんの秋まつりの期間は
無休で営業
観覧料：
大人220円
(中学生以下無料)

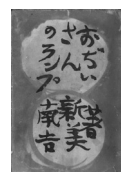
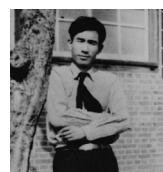


新美南吉の記念文学館。館内には常設展示や図書閲覧室などが設けられ、南吉が残した童話や小説の自筆原稿や日記・手紙などの資料、「ごんぎつね」のジオラマなどをみることができます。

7/16^土～11/6^日 半田市制85周年記念特別展

南吉の昭和17年 ～私は死ぬ けれど私の仕事は死なない～

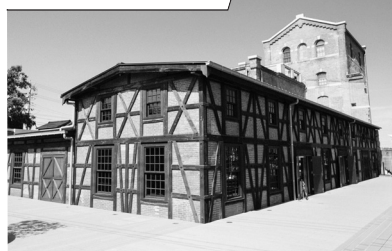
昭和17年、南吉は「おじいさんのランプ」など後期の代表作を多く書き上げ、初めての童話集を出版しました。彼にとって、死の前年にあたるこの1年がどんな時間だったかを探っていきます。



詳細はコチラ



半田赤レンガ建物



明治31年に本格的なドイツビールの醸造のために建設された旧カプトビール工場。館内では、常設展示室の観覧や、カプトビール、地元食材を使った美味しい料理が楽しめます。
【半田赤レンガ建物】
住所：半田市榎下町8 TEL:0569-24-7031
開館時間：9:00～22:00
営業時間：9:00～17:00(常設展示室)
休館日：ごんの秋まつりの期間は無休で営業
料金：大人200円 中学生以下 無料
団体(20名以上)160円

半田運河



江戸時代、海運で栄えた半田から江戸へと特産の酒や酢が運ばれました。運河沿いにはその醸造蔵が建ち並び、江戸の面影を今に伝えています。

國盛 酒の文化館



江戸時代からの歴史を誇る酒造りの道具・資料を展示しています。
営業時間：10:00～16:00
休館日：木曜 料金：無料・事前予約制

イベントスケジュール

9/24^土・25^日・10/1^土・2^日 街頭紙芝居屋さん

場所：新美南吉記念館

9/25^日 10:00～16:00

GON FES 2022 スイーツ販売、ダンスイベントほか

場所：新美南吉記念館

9/25^日 10:00～20:30

ハナノヒカリプロジェクト 2022 10:00-17:00 ワークショップ、18:30-20:30 彼岸花のライトアップ

場所：矢勝川周辺

9/22^木～10/2^日

みんなの南吉展 南吉童話を表現した作品展

場所：CLACITY・半田赤レンガ建物



アクセスマップ



ごんの秋まつり会場へのアクセス

名鉄線ご利用の場合

■半田駅下車(徒歩10分) ※普通電車のみ停車

■知多半田駅下車

○タクシー(所要時間約10分)

利用方法 / 駅前ロータリー又は新美南吉記念館のタクシーのりばよりご乗車ください。

○ごんくるバス(1乗車100円/所要時間約15分)

利用方法 / 雁宿ホール前ごんくるバス停留所 C14より「南吉バス」にご乗車ください。

※会場周辺には駐車場が少ないので公共交通機関をご利用ください。

お車でのご越しの場合

[平日] 新美南吉記念館及び周辺の有料臨時駐車場をご利用ください。※台数に限りがございます

[土日祝] アイブラザ半田の臨時無料駐車場をご利用ください。新美南吉記念館の駐車場には駐車不可(障がい者を除く)。アイブラザ半田からごんの秋まつり会場までは、半田観光周遊バス(無料)をご利用いただけます。新美南吉記念館と半田赤レンガ建物に停車します。

利用時間 / ●アイブラザ半田 始発 9:00～終発16:00

●新美南吉記念館 始発 10:26～終発17:30

※道路やお店への無断駐車はご遠慮ください。

※期間中、大型バスの乗降は新美南吉記念館で行えます。駐車はできません。※荒天時や開花の状況により運行スケジュールが変更される場合があります

※詳細は半田市観光協会ホームページ (<http://www.handa-kankou.com/>) をご覧ください。

●ごんくるバス停 ●半田観光周遊バス停 ■半田観光周遊バス順路/アイブラザ半田(臨時無料駐車場)→新美南吉記念館→半田赤レンガ建物(名鉄住吉町駅徒歩5分)→アイブラザ半田